

農 研 速 報

2026 年 10 月 2 日 発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(9月28日現在、龍ヶ崎市)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	備考
	本 年	対平成遅速		
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 子実肥大期	4日遅い	龍ヶ崎市における8月第6半旬～9月第5半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。 【気象】 気 温: 平均気温は低かった(平年差-1.8℃、図1)。 降 水 量: 平年比 411%とかなり多かった(図2)。 日照時間: 平年比 35%とかなり短かった(図3)。 【生育】 <u>里のほほえみ</u>: 主茎長はやや短く、主茎節数はやや少なく、分枝数は平年並で、茎の太さはやや細く、地上部生体重はやや重かった。一株莢数はやや多く、一株莢重は平年並だった。 <u>納豆小粒</u>: 主茎長は短く、主茎節数はやや少なく、分枝数はかなり少なく、茎の太さはやや細く、地上部生体重は平年並だった。一株莢数は平年並、一株莢重はやや重かった。 9月28日時点の所内大豆の生育状況を示した(写真1)。 両品種ともに葉焼病が見られた。また、台風25号による大雨の影響で9/21～22にかけて莢の高さまで湛水状態が続いた(写真2)。「納豆小粒」は、湛水による腐敗莢の発生が多く見られたが(写真3)、「里のほほえみ」は、少なかった。 【注釈】 1) 対平成遅速は開花期の本年値と平年値の差による。 2) 平年値は直近5ヵ年分(令和2年～5年・7年、令和6年は天候不順により播種期が13日遅れたため除外)のデータ平均値。	●病虫害防除をこれまで下記の通り実施した。 ・害虫防除: 8/5、8/17、8/28、9/14、9/25 ・紫斑病防除: 8/17、8/28、9/14、9/25 ○紫斑病の防除適期は、開花期の20～30日後頃である。 ○病虫害の情報や防除対策は、病虫害防除部のホームページを参照する。 (https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nosose/byobo/index.html)
	納豆小粒 子実肥大期	3日遅い		

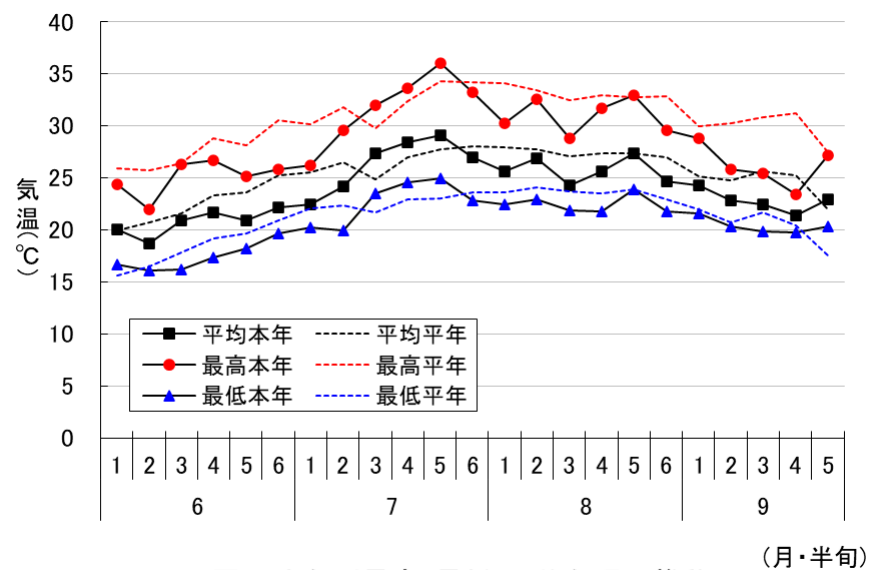


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移

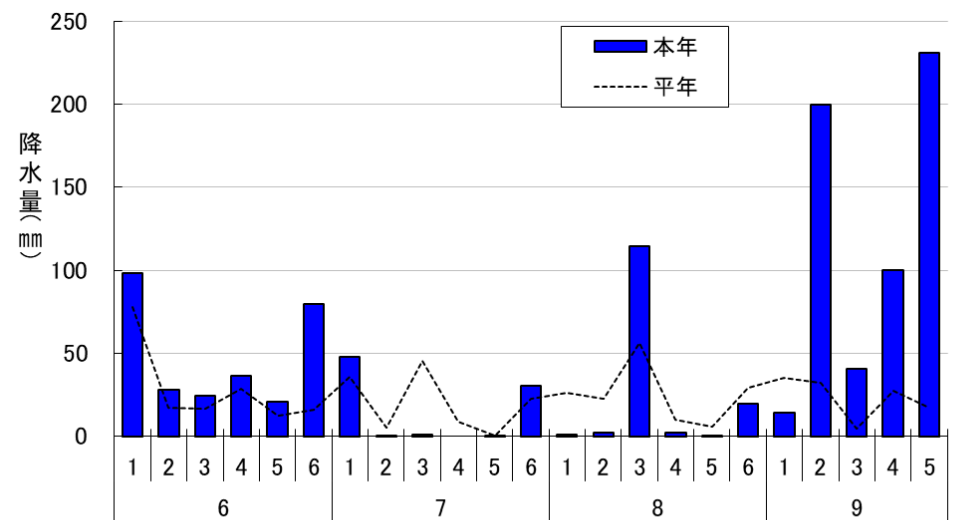


図2 半旬別降水量の推移

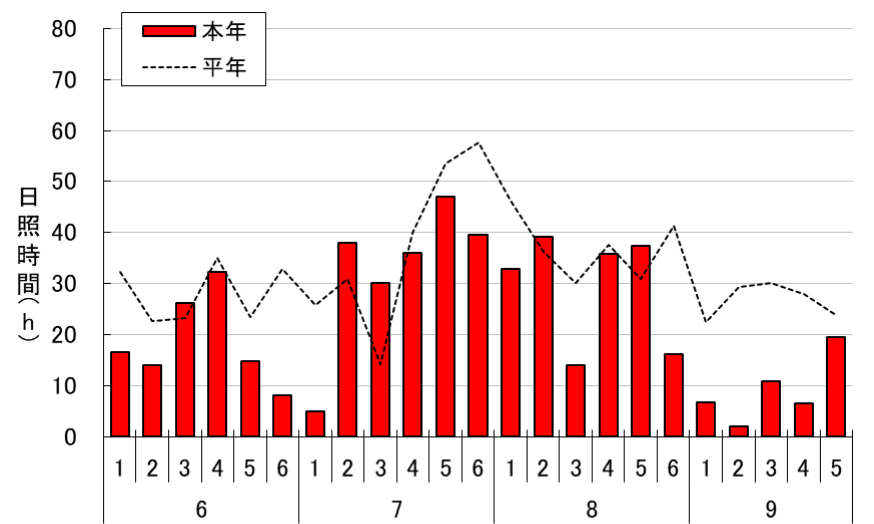


図3 半旬別日照時間の推移

表 1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	8. 03	7. 30	7. 30	48. 7	85	84	13. 5	93	96	4. 6	105	107	11. 3	84	90
納豆小粒	8. 09	8. 07	8. 06	51. 9	72	72	15. 2	90	92	8. 7	92	87	10. 6	91	96

品 種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	312. 8	105	104	79. 6	94	105	122. 2	116	103
納豆小粒	341. 2	96	101	228. 1	92	100	118. 2	100	106

- 【耕種概要】

 - 1) 圃場来歴：転換 3 年目（前作麦）
 - 2) 播種期：6 月 19 日
 - 3) 播種密度：11.1 株/㎡（畦間 60cm、株間 15cm）1 本立て
 - 4) 基肥：N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2kg/a
 - 5) 中耕・培土：7 月 17 日、7 月 28 日（それぞれ子葉節、初生葉節まで実施）
- 【注釈】

 - 1) 生育調査は 9 月 28 日に実施
 - 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
 - 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ
 - ★ 4) 地上部生体重、一株莢数、一株莢重は腐敗莢も含めて算出した

【平年値】

令和 2 年～令和 5 年、令和 7 年播種の 5 ヶ年の平均値（令和 6 年は天候不順により播種期が 13 日遅れたため除外）

里のほほえみ



納豆小粒



写真1 所内大豆の生育状況(9月 28 日撮影、左:里のほほえみ 右:納豆小粒)



写真2 湛水した大豆圃場の様子



写真3 納豆小粒 莢の腐敗症状

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

